



平成29年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場会社名 株式会社フジコー 上場取引所 東
 コード番号 2405 URL http://www.fujikoh-net.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 直人
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 佐藤 陵枝 (TEL) 03(3841)5431
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第1四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	1,006	59.1	127	231.4	108	225.7	67	398.3
28年6月期第1四半期	632	△1.1	38	△64.3	33	△65.6	13	△76.6

(注) 包括利益 29年6月期第1四半期 86百万円 (832.4%) 28年6月期第1四半期 9百万円 (△82.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第1四半期	16.36	—
28年6月期第1四半期	3.48	3.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第1四半期	6,781	2,553	32.1
28年6月期	6,541	2,225	28.6

(参考) 自己資本 29年6月期第1四半期 2,176百万円 28年6月期 1,867百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年6月期	—	—	—	—	—
29年6月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,950	45.3	235	62.3	210	58.9	120	50.7	27.75
通期	3,850	35.5	440	59.1	400	65.4	221	64.1	49.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年6月期1Q	4,541,000株	28年6月期	3,891,000株
29年6月期1Q	123株	28年6月期	123株
29年6月期1Q	4,107,543株	28年6月期1Q	3,871,973株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項について、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

平成29年6月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、平成28年9月に行った公募増資及び第三者割当増資による増加株式数を反映させて算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間における取り組みは、既存事業につきましては効率的な受入態勢とサービスの向上に努めてまいりました。受入数量を制限することにより、お客様への迅速な対応と分別処理工程の効率化を進めております。また、既存の取引先に加え、新規取引先からの受注により受入数量及び受入平均単価の安定化に努めてまいりました。

新規事業であります森林発電事業につきましては、前期末の平成28年6月から営業運転を開始しております。当第1四半期連結累計期間において細かな改修追加工事を実施しておりますが、発電施設は計画通り順調な稼働を継続しております。

これらの結果、売上高は1,006百万円（前年同期比59.1%増）となりました。

売上原価は802百万円（前年同期比56.1%増）となり、既存事業においては維持管理費が前年同期比で増加しております。森林発電事業は木材仕入費等が発生し、前年同期比で284百万円増加しており、売上原価の増加額288百万円の大部分を占めております。売上総利益は204百万円（前年同期比71.9%増）となりました。

販売費及び一般管理費は76百万円（前年同期比4.8%減）となり、森林発電事業の営業運転開始により、準備費用が減少しております。その結果、営業利益が127百万円（前年同期比231.4%増）となり、営業外費用は支払利息が増加しておりますが、経常利益は108百万円（前年同期比225.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は67百万円（前年同期比398.3%増）となりました。既存事業の収益改善とともに森林発電事業の営業運転開始により、前年同期と比較した各利益は大幅に改善しております。

セグメントの業績は次の通りであります。

①建設系リサイクル事業

建設系リサイクル事業は、前期より取り組みを進めております受入数量と外注委託数量のバランスを考慮しつつ、受入時のお客様へのサービス向上と安全で効率的な処理工程の構築を目指しております。受入数量は若干減少しておりますが、外注委託数量も減少したため収益が改善しております。全般的な受入数量は建設廃棄物の発生数量が減少傾向であります。非建設系廃棄物の受入及び新規取引先の拡大により、計画通り推移しております。発電施設の売電数量は前年に法定点検を実施した影響もありますが、売電数量が増加するとともに売電単価も向上しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は493百万円（前年同期比1.0%減）、売上原価は384百万円（前年同期比1.2%減）となった結果、売上総利益は109百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

②食品系リサイクル事業

食品系リサイクル事業は、液状化飼料の原料となる食品循環資源の受入拡大に向け、新規受入先の開拓に注力してまいりました。再資源化センターでの合計受入数量は、前年同期比で7.6%増加しておりますが、販売先の肥育頭数の変動等により、液状化飼料の販売数量は1.5%減少しております。銚田ファームは販売単価が下落傾向で推移するとともに、販売数量も若干減少しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は62百万円（前年同期比6.1%減）、売上原価は53百万円（前年同期比11.5%減）となった結果、売上総利益は9百万円（前年同期比41.4%増）となりました。

③白蟻解体工事

白蟻解体工事は、解体工事につきましては施工体制の拡充により工事件数が増加するとともに大型工事も完了したため、売上高が前年同期比で69.5%増加しております。また、白蟻工事は各種キャンペーン等により、既存工事件数が増加しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は74百万円（前年同期比53.6%増）、売上原価は63百万円（前年同期比32.3%増）となった結果、売上総利益は10百万円（前年同期は0.5百万円の売上総利益）となりました。

④森林発電事業

森林発電事業は、前期末より発電施設が営業運転を開始しております。発電燃料となる木材は当初から計画しておりました原木に加え、発電施設近隣の製材工場から発生する背板（丸い原木を四角に加工する際に発生する丸い部分）の受入数量が増加しております。平成26年末から発電施設近隣の貯木場に原木を保管しておりましたので、燃料の含水率も低く、効率的な発電を継続しております。地域関係者の方々との協議を進め、継続的に安定した木材調達に注力しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は375百万円（前年同期は18百万円の売上高）、売上原価は301百万円（前年同期は17百万円の売上原価）、売上総利益は74百万円（前年同期は1百万円の売上総利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて240百万円増加し、6,781百万円となりました。主な増減要因は次のとおりです。

流動資産については、公募増資等により現預金が増加したため、前連結会計年度末に比べて257百万円増加し、1,694百万円となりました。固定資産については、前連結会計年度末に比べて17百万円減少し、5,086百万円となりました。

流動負債については1年内返済予定の長期借入金の返済により、前連結会計年度末に比べて146百万円減少し、1,144百万円となりました。固定負債についてはリース契約等により、前連結会計年度末に比べて58百万円増加し、3,084百万円となりました。

純資産については、増資及び利益計上により、前連結会計年度末に比べて327百万円増加し、2,553百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は、建設系リサイクル事業及び解体工事が計画を上回っており、全般的には概ね計画通り推移しております。売上原価につきましては、解体工事での外注費用等が計画を上回っておりますが、売上高の増加によるものであります。今後も建設系リサイクル事業は収益の改善を見込むとともに、森林発電事業の安定稼働に努めてまいります。

現時点におきまして前回公表数値に変更はありません。変動が見込まれる場合は、必要に応じて適時開示してまいります。

(単位：百万円)

	当第1四半期	前第1四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	1,006	632	373	964	41
売上原価	802	513	288	782	19
売上総利益	204	118	85	182	22
販売管理費	76	80	△3	75	0
営業利益	127	38	89	106	21

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	349,371	600,478
受取手形及び売掛金	463,601	477,615
たな卸資産	312,319	315,521
その他	312,619	301,890
貸倒引当金	△832	△845
流動資産合計	1,437,079	1,694,659
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,005,447	3,019,406
減価償却累計額	△920,078	△945,607
建物及び構築物(純額)	2,085,369	2,073,799
機械装置及び運搬具	4,488,702	4,542,759
減価償却累計額	△1,934,124	△2,026,765
機械装置及び運搬具(純額)	2,554,578	2,515,993
土地	231,995	231,995
その他	56,783	58,257
減価償却累計額	△45,760	△47,017
その他(純額)	11,023	11,239
有形固定資産合計	4,882,966	4,833,028
無形固定資産	4,672	16,676
投資その他の資産		
投資その他の資産	218,217	238,670
貸倒引当金	△1,910	△1,590
投資その他の資産合計	216,306	237,080
固定資産合計	5,103,946	5,086,784
資産合計	6,541,026	6,781,444

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	250,765	270,513
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	622,984	470,747
未払法人税等	59,516	22,059
賞与引当金	-	22,076
その他	156,979	158,778
流動負債合計	1,290,246	1,144,175
固定負債		
長期借入金	2,762,622	2,780,505
資産除去債務	109,320	109,396
その他	153,569	194,127
固定負債合計	3,025,512	3,084,029
負債合計	4,315,758	4,228,205
純資産の部		
株主資本		
資本金	499,470	629,873
資本剰余金	611,798	742,201
利益剰余金	756,486	804,226
自己株式	△59	△59
株主資本合計	1,867,695	2,176,242
非支配株主持分	357,571	376,996
純資産合計	2,225,267	2,553,239
負債純資産合計	6,541,026	6,781,444

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
売上高	632,691	1,006,608
売上原価	513,849	802,346
売上総利益	118,842	204,262
販売費及び一般管理費	80,284	76,464
営業利益	38,558	127,798
営業外収益		
受取利息	77	5
受取家賃	1,950	1,950
その他	3,705	915
営業外収益合計	5,732	2,871
営業外費用		
支払利息	6,812	9,769
支払手数料	2,788	2,587
株式交付費	-	8,219
その他	1,448	1,824
営業外費用合計	11,049	22,400
経常利益	33,241	108,269
特別利益		
固定資産売却益	-	92
特別利益合計	-	92
特別損失		
固定資産除却損	4,444	1,063
特別損失合計	4,444	1,063
税金等調整前四半期純利益	28,796	107,298
法人税、住民税及び事業税	3,162	15,883
法人税等調整額	16,344	4,795
法人税等合計	19,506	20,678
四半期純利益	9,290	86,619
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,195	19,424
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,486	67,195

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	9,290	86,619
四半期包括利益	9,290	86,619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,486	67,195
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,195	19,424

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成28年9月5日を払込期日とする公募による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ114,353千円増加しております。また、平成28年9月20日を払込期日とする第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに伴う第三者割当）による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ16,049千円増加しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ130,403千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が629,873千円、資本剰余金が742,201千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設系 リサイクル 事業	食品系 リサイクル 事業	白蟻解体 工事	森林発電 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	498,691	67,049	48,373	18,576	632,691	-	632,691
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	498,691	67,049	48,373	18,576	632,691	-	632,691
セグメント利益又は 損失(△)	109,998	6,775	549	△13,334	103,988	△65,430	38,558

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額65,430千円は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設系 リサイクル 事業	食品系 リサイクル 事業	白蟻解体 工事	森林発電 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	493,630	62,937	74,278	375,761	1,006,608	-	1,006,608
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	493,630	62,937	74,278	375,761	1,006,608	-	1,006,608
セグメント利益	109,621	9,578	10,992	63,925	194,117	△66,318	127,798

(注) 1. セグメント利益の調整額66,318千円は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。